

創造・誇り・愛！ 輝く七中 <sup>きら</sup>煌めけ生徒！！



# とちのき

立川市立立川第七中学校

校長 渡辺 政彦

学校だより

第1号

令和3年4月15日

〒190-0034 東京都立川市西砂町 6-28-3

TEL (042) 531-0511~3 FAX (042) 531-6103 URL <http://www.tachikawa.ed.jp/jh07/>

## 進級・ご入学おめでとうございます

校長 渡辺 政彦

桜の花が満開に咲き誇る中で令和3年度が順調に始まりました。4月7日の入学式では、新型コロナウイルスの影響で昨年同様に、教職員と新入生、保護者の参列という縮小された形で行われました。凜と張りつめた空気の中で、希望や期待に胸を膨らませ155名の新入生を迎え、これで、今年度は2年生171名、3年生151名を合わせた全校で477名でのスタートになります。入学式では最初の授業ということで本校の教育目標について話しをしました。ここで式辞の一部を紹介します。

本校では中学校、三年間の学びの中で、社会で自立していくために、皆さんに身に付けてほしい力を教育目標として三つ掲げています。

一つ目は「深く考え、進んで学ぶ」です。皆さんが生きていく社会は、AIやIOTといった技術革新がさらに進むとともに、今回の新型コロナウイルスの影響により働き方やライフスタイル、産業構造までもが大きく変わろうとしています。そうした激変の中で生きていくためには、学校での学びを基に自分に必要な知識・技能を自分で身に付けていかなければならないということです。そのために必要とされるのが、自分で考える力、判断する力、表現する力です。これからの中学校の授業では、人生の基本となる様々なことを学んでいきますが、ぜひ、何事にも、“どうしてこうなるんだろう”と深く考え、興味を持って取り組んでほしいと思います。

二つ目は「温かく思いやり、正しく行う」です。これは、自分も、周りの人もすべての人を大切にする気持ちをもつということです。そのためにはまず、中学校の三年間で自分自身を見つめて、自分の良さを見つけ、伸ばすことが大切です。また、同時に友達の良さも認めることも大切です。互いを尊重することで、互いに伸びていこうとする気持ちも生まれます。ぜひ、自分を大切に、友達を大切に、互いに成長できる“友”を立川七中で見付けてください。

三つ目は「たくましく鍛え、自ら創る」です。中学校の三年間で皆さんは心身ともに大きく成長していきます。そのためにも、目標を定め、目標達成に向けて日々の努力を重ねてほしいと思いますし、努力を重ねることでしか成長はないと思います。先日の競泳女子百メートルバタフライのオリンピック選考会では白血病を乗り越えて池江璃花子選手が優勝しました。直後のインタビューで「勝つための練習はしっかりやってきましたし、最後は「ただいま」という気持ちでこのレースに入場してきたので、自分がすごくつらくて、しんどくても努力は必ず報われるんだというふうに思いました」と答えていました。この言葉に、勇気をもたらしたのは私だけではないと思います。ぜひ中学の三年間で「たくましく鍛えて、新たな自分を創ってほしい」と思います。

これら三つの目標を意識して、自らを高め、充実した中学校生活を送ることを期待しています。本来ならば、二・三年生の在校生とともに、新しい年度のスタートを切りたかったところですが、ぜひこれから始まる学校生活のなかで、中学生としての自覚を培い、皆さん一人一人が楽しく、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

最後になりますが、新年度が始まったとはいえ、新型コロナウイルスは第4波の増加傾向にあり、今後の学校生活についてはまだ先が見通せない状況もありますが、こうした時だからこそ、学校と家庭との連携を密にして協力をしていくことが大切です。分からないことや心配なことがあろうかと存じますが、遠慮なく学校に相談していただければと存じます。よろしくお願ひいたします。

